

ぶどうの樹

2019.6
NO. 24



写真：2019年5月21日 資料保管室にて
(新長崎学研究センター長 姫野 順一)

INDEX

特集1：新長崎学研究センター貴重コレクション紹介
特集2：対馬高等学校と遠隔授業実施の様相

5 チャペル通信

6 新任教員紹介

7 寄付事業のお礼と報告

8 追悼 長野雅文課長

9 同窓会だより／保護者会だより

10 2018 (H30) 年度決算報告

「長崎の伝統と外来文化」コレクション紹介

新長崎学研究センターは2016年4月に発足し、今年で4年目を迎えます。本センターの研究と教育に活用することを目的に、平成30年度私立大学等研究設備整備費補助金に応募し、「長崎の伝統と外来文化」のコレクション（全14点）を購入いたしました。今回は全14点の中から特に貴重な資料4点を紹介します。

* シーボルト「日本語要略」

フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトがラテン語で日本語について論じた書物です。「バタヴィア学芸協会紀要」<Verhandelingen van het Bataviaasch Genootschap voor Kunsten en Wetenschappen> 第11巻(1826)に掲載された抜き刷りです。シーボルトはツンベルグの旅行記の仏訳本の影響を受け、ケンペルの著作にみられる日本語のローマ字転写法を踏襲しながら誤りや誤植を修正し、より体系的に日本語を捉え、ツンベルグには見られない言語学的視点で日本語の研究を行いました。本書は19世紀ヨーロッパの日本語学の研究の原点ともなった重要な文献です。

フランスの日本学者のレオン・ド・ロニーなどからは批判を浴びましたが、近年、本書に表れたシーボルトのオリジナルな視点は評価が見直されています。バタヴィアで少数しか刊行されなかったため、今日入手は極めて困難で、我が国の所蔵は3冊のみです。

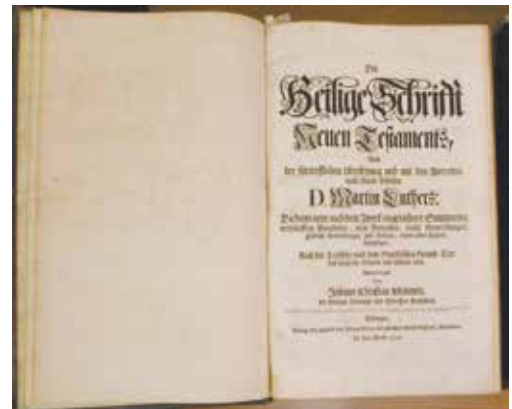


イロハの日本語表記法

* 「ルター派聖書」

赤いモロッコ革装丁の美しい3巻本のコッタ版ルター聖書です。ドイツのルター派神学者でテュービンゲン大学の教授だったプファッフが編集・注釈を付したものです。新約聖書はプファッフの義理の息子クレムによって編集されました。本聖書は敬虔主義に基づいており、各章の最後に各節の詳細な解説がなされています。テキストは、世界で最初の聖書協会を設立したカンシュタイン男爵が刊行した聖書を基にしています。

テュービンゲンの有名な書店コッタ(Cotta)から出版された本聖書は、一般の人々のためというよりも、当時の神学者や学者、または貴族のための豪華な出版物でした。ヴュルテンベルクでルター派が争っていた時代に、神学的な差異を克服するための実践的な試みは、カトリックが多数を占めていたドイツ南部で熱狂的な福音派プロテスタントの拠り所となりました。



Biblia, Tübingen: Cotta, 1729

*ロドリゲス「日本小文典」仏訳版

イエズス会宣教師ロドリゲスが著した日本語文法の1825年に出版された仏訳版です。ロドリゲスは1577年来日、卓抜な日本語力により通訳として活躍し、豊臣秀吉や徳川家康の知遇も受けました。その彼が日本語を学ぶヨーロッパ人初心者のために著した本書は、口語の文法を中心に、発音・敬語・文体さらに日本人の命名法、各種の位階名などを解説し日本語の上達法まで述べています。



*Éléments de la Grammaire
Jaaponaise, Paris, 1825*

*「明治・鼈甲装丁古写真アルバム」

長崎市名所・寺社・官庁・産業施設等の生写真61枚収載のアルバムです。長崎第2代長崎造船所所長・荘田平五郎に贈られた特製の豪華な写真帳アルバムで、表紙の上下に「贈呈荘田君」「長崎 有志者」という鼈甲細工の文字型が入っています。三菱財閥の荘田は明治30年から長崎に赴任して造船所やその他、多岐にわたって多くの改革事業を成功させ、明治39年に帰京。本アルバムは帰京に際して長崎の官界・財界有志が長崎の写真師竹下佳治に製作を依頼し、思い出となる市内名所旧跡等の記念写真を贈呈したものです。



竹下佳治「明治末期長崎写真アルバム」

<新長崎学研究貴重資料の収集について>

新長崎学研究センターは、長崎外国語大学のブランド力を強め、本学の研究水準を高めるために活動しています。2017年度は、本学に対する企業や団体、個人のご芳志による寄付金を原資として文科省の私学設備支援事業に応募しました。初年度は長崎学に絡み1865年に英国軍艦サーペント号の技師長サットンが撮影した「長崎とその周辺」ほか、長崎を撮影した古写真を収集することができました。2018年度は、キリスト教主義、外国語教育と異文化理解、国際平和といった長崎外国語大学の建学の精神に関わる貴重資料を充実させるために、長崎学の古書を中心として「長崎の伝統と外来文化」コレクション（14点）の購入を計画・申請して認められました。これにより本学の新長崎学研究貴重資料は拡充し、内外に誇れる基盤ができつつあります。新長崎学研究センターは本学の研究と教育の質を高めるためにさらに貴重資料の収集に努めるものですが、収集した資料を活用するためには、書誌と解題に基づく目録の作成、電子情報化とその公開、研究による付加価値の創出、教材としての使用が必要です。新長崎学研究センターはメディアセンターと協力してこの任にあたるものですが、長崎外国語大学のブランド力を強め、研究マインドを高めていくために教職員の皆様のさらなるご協力とご支援をお願いいたします。

新長崎学研究センター長 姫野 順一

対馬高等学校との遠隔授業を行いました

2019年1月30日に長崎県立対馬高等学校と本学を結んでインターネットを通じた韓国語の遠隔授業を行いました。



対馬高等学校は国際文化交流コースを有し、韓国語や韓国文化を専門的に学ぶことができる特色ある高等学校です。本学と対馬高等学校は、2018年8月に韓国語教育の充実と発展を目指し、より一層の連携をはかることを目的として高大連携協定を締結いたしました。この高大連携のもと、1月23日に対馬高等学校で韓国語専修の佐々木正徳准教授（当時、現教授）が出張講義を行い、1月30日には出張講義の事後フォローを目的としてインターネットを通じた遠隔授業が行われました。

「語彙を増やそう」というテーマでハングルに当てはまる漢字を見て日本語の意味を考える授業が行われ、パワーポイントで作成した画面を見ながら佐々木准教授が説明を行いました。クイズ形式の出題も交えながら和やかな雰囲気の中で遠隔授業は行われ、生徒の皆さんも楽しみながら韓国語に対する理解を深めている様子が伺えました。授業を担当した佐々木准教授は「生徒の皆さんが積極的に発言をしてくれて、楽しい時間を過ごすことができました。自身の授業のあり方を見直すきっかけにもなりました」と感想を述べていました。

今後も高等学校と大学を遠隔教育システムで結ぶことで、専門性の高い教育を生徒の皆さんへ提供し、言語の運用能力やコミュニケーション力を高めることを支援していきたいと考えています。

あの人にインタビュー！



しまだ よしこ
島田美子さん（オルガン奏楽者）

長崎外国語大学のチャペルアワーで、長崎外国語短期大学の時代から37年の長きにわたってオルガン奏楽を務めてくださっている島田美子さんにお話をお伺いしました。

もともとオルガンではなく、ピアノが専門です。4歳からピアノを始め、活水高校の音楽コースに進みました。音楽家の道に進むことになったのは、高校2年生の時の素晴らしいピアノの先生（馬場幸子氏、元国立音楽大学講師）との出会いがきっかけです。それで洗足学園音楽大学のピアノ科に進学しました。洗足学園もクリスチャンが創立した学校ですが、キリスト教的な雰囲気はあまり感じませんでした。

音大ではまじめな学生でした。1年生の時は原宿に遊びに行ったりと、それなりに学生生活を楽しみましたが、周りのすごい学生たちに後れを取ってはいけないとの思いから、がむしゃらに練習する毎日でした。母校の音大は、後にアニメ化もされた漫画『のだめカンタービレ』のモデルになりましたが、わたしたちが学生だった頃は、漫画のように恵まれた環境ではありませんでしたね。学生寮は4人部屋で、部屋に1台しかないピアノを時間交代で使って練習していました。

外語短大でチャペルアワーの奏楽を担当するようになったのは26歳の時（1982年）からです。住吉にキャンパスがあった当時は、週4日チャペルアワーがありました。礼拝前など今よりも騒がしかったです。でも山本（敏明）先生（当時宗教主任）のご指導で静かになってきたように思います。初めの頃は足踏み式のリードオルガンで伴奏をしていました。また放課後の課外活動で学生へのピアノ指導も担当していました。

ピアノとオルガンとの奏法の違いは、ピアノはペダルを踏めばキーから指を放した後も音を伸ばすことができますが、オルガンはキーから指を放した途端、音が途切れてしまいます。ですからオルガンでは音を鳴らしたい間、ずっとキーを押し続けなければならないのが演奏しにくいところです。

自分が高校生だった時、活水高校のチャペルアワーの講話には、まじめで堅苦しい印象を受けましたが、それに比べると、外語（短）大の先生方のチャペルアワーの講話は、世間話のように聞きやすいという印象があります。例えば布井（孝良）先生（当時学長）のお話など、今でもよく覚えています。テレビドラマ『水戸黄門』の黄門様の役で知られた俳優の東野英治郎と同級生だった布井先生は、まだ若かった頃、友人である東野氏の初舞台を見に行っていたそうです。ところが芝居の最後まで東野氏の姿は舞台に見えなかった。それで芝居が引けた後、布井先生が東野氏に尋ねたところ、東野氏は何と馬の前足の役で出演していたということでした。馬の被り物を被っていたので、分からなかったのです。あの俳優も若い頃はそのような下積み時代の時代を経たというお話でした。

わたしは今年で63歳になり、そろそろ引退したいと思っていますが、65歳までチャペルアワーの奏楽のご奉仕を続けることができれば、と願っています。

（聞き手：小西哲郎編集委員）

よろしくお願ひします！ —2019年度新任教員紹介—



ぼく よんきゅ
朴 永奎

4月から韓国の科目を担当しています。専門は韓国の教育史で、1945年以前の植民地朝鮮における教員養成について、45年以降の韓国の教育政策における教育理念の変化等を追究しております。昭和に韓国の忠州で生まれ、平成に那覇経由で博多に着き、令和に長崎へ参りました。故に「九州系韓国人」と自称しております。

学びにおいては結果へと辿り着くまでの過程を特に重んじております。学校の研究室から大村湾をじっと眺めたり、住まいでは無心で草取りしたりするのが好きです。唐辛子・えごま・トマト・胡瓜・ゴーヤー等を植え、その成長過程をみるのも好きです。皆さんと一緒に成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

国際コミュニケーション学科/准教授



かねこ なお
金子 奈央

4月から学修支援センター担当教員となりました。昨年10月に新しく開室した学修支援センターは、大学での学修に関わる課題や問題に直面したり、より発展的な取り組みに挑戦したい学生さんをサポートする場です。私自身は多民族国家マレーシアの教育研究が専門で、現地ではマレー語、中国語、英語、タミル語など多様な言語が日常的に飛び交う中で生活をしてきました。外国語を深く学ぶことは大変ですが、ひとつひとつ乗り越えて習得するプロセスには面白さも多々あります。センターで学生さんの学修サポートをしながら、「面白い」を感じる瞬間を多く共有できるように頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

国際コミュニケーション学科/講師



きむ むに
金 文姫

4月から韓国語の授業を担当しています。専門は、近世期対馬と鹿児島島の苗代川で作られた朝鮮語学習書の言語と文献学についての研究です。朝鮮語学習書は主に対馬で作られ、朝鮮語通詞を育成する先生も対馬から派遣されました。それで長崎に来たことにご縁を感じています。学生さんに「韓国語本当に面白い！」と思ってもらうために、わかりやすい授業を目指していきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

国際コミュニケーション学科/講師



けい びん
桂 雯

4月から中国語と中国文化の授業を担当しています。出身は中国広東省です。専門は中国の普通話と広東語の対照で、その範囲は音声から文の構造まで全般的なものです。細かい分野を超えた、総合的な研究を目指します。

私は国際交流に関心を持ち、日本のほかに、大学と大学院在学時に韓国とドイツへ交換留学したことがあります。自分の留学経験を活かして、国際交流に関心があつて中国へ留学する学生をサポートしていきたいと思ひます。

長崎外国語大学でのお仕事は日本での初仕事です。まだ不慣れなところもありますが、とても楽しいです。毎日大学に来ることを楽しみにしています。中国語と中国文化の面白さを学生に伝え、授業を楽しく、かつ有意義な時間にするために頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

国際コミュニケーション学科/講師



おおぶち ひとみ
大淵 瞳

4月から、留学生の日本語科目を担当しております。高校生の頃から日本語教育に関心を持ち始め、2012年にこの長崎外国語大学を卒業し、この度教員として長崎に戻って参りました。これまで国内の日本語学校や専門学校で日本語を教えてきましたが、今までとは全く異なる環境で日本語を教えるにあたり、新鮮さを感じるとともにどこか懐かしさも感じています。

日本語を含め、言語は他者を理解するため、自分を理解してもらうために存在していると思ひますので、それが授業を通して少しでも伝わるように心掛けていきたいと思ひます。まだまだ不慣れなところもありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

国際コミュニケーション学科/助教



なかむら さき
中邨 早希

現代英語学科/助教

10月に開室した学修支援センターで、主に英語に関する指導に携わっています。基礎的な内容から、発展的学習まで支援をしています。学習は日々の継続が大切と考え、学生さんに少しでも英語を好きになってもらえるようなアプローチを心がけています。ありがたいことに、利用者も多くなってきましたので、まだ利用したことのない方もお気軽に立ち寄ってみてください。専門はアメリカ文学で、作品に描かれる貴族女性像について興味があります。

大学時代は県外に出ていましたが、それ以前は長崎で育ちましたので、再び故郷長崎で英語教育に携わることができ、嬉しく思っています。どうぞよろしく願いいたします。



そのはた あや
園畠 綾

国際コミュニケーション学科/助教

今年度から留学生の日本語科目を担当しています。2年前に卒業した本学にこの度助教として勤めることとなり、大変光栄に思うと同時に卒業生の名に恥じないようにと身が引き締まる思いです。

高校生の頃から志していた日本語教師という職業に就き、またこうして外大に関わる機会を得ることができたので、教員として留学生と向き合うだけでなく、以前の私と同じように外国語を学ぶ皆さんや日本語教師を目指す後輩たちと交流ができれば嬉しいです。

長崎は市内の観光名所だけでなく、離島を含む各所に素晴らしい魅力が詰まっていると感じています。そのため、職務を全うするのはもちろんのこと、まだ見ぬ長崎の魅力を探る2年間にしたいです。これからよろしく願いいたします。

教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は平成31年3月末現在で535件、22,903,870円（平成30年10月1日～平成31年3月31日：52件、921,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

寄付者ご芳名一覧 平成30年10月～平成31年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

安藤 伸吉 江口 裕治 榮 健博 知名 清 平下 美登里
石垣 五夫 大戸 徹 佐藤 栄磨 鳥實 政明 深草 弘幸
植木 啓子 小川 守 高木 泰文 西倉 雅宏 古井 恵子
牛垣 昌子 岸川 善彦 高田 裕人 花岡 誠司 松田 明大
有働 真澄 桑原 孫市 田中 理恵 引地 仁子 南 加代子

法人の部

(敬称略)

長崎自動車 株式会社 京セラコミュニケーションシステム 株式会社
DEITz 株式会社 有限会社 小田警備保障
NHJテクノエンジニアリングソリューション 株式会社 長崎バプテスト教会
株式会社 松田久花園
日本紙工印刷 株式会社

新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関わる寄付事業」は平成31年3月末現在で48件、10,469,000円（平成30年10月1日～平成31年3月31日：4件、180,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

寄付者ご芳名一覧 平成30年10月～平成31年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

(敬称略)

栗屋 曠 溝田 勉

寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。
法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課 (担当：森脇)
Tel : 095-840-2003 (法人財務課直通) Email : keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

追悼 ^{ながの まさふみ} 長野 雅文 課長

2019年2月12日
キャリア支援課
長野 雅文(60歳)課長が
永眠されました。
これまでの働きに感謝し、謹んで
ご冥福をお祈り申し上げます。



【故人略歴】

1958年5月10日 生まれ
2003年5月 新規採用、入試広報室に配属される
2005年4月 入試広報室 室長代行
2007年7月 入試広報室 室長
2010年4月 キャリア支援室 室長
2012年4月 キャリア支援課 課長



4月1日、教職員を中心に「偲ぶ会」を執り行いました。



就職指導へかける熱い思いは、学生たちを引き付けました。

追悼の辞 ^{いしかわ あきひと} 学長 石川 昭仁

去る2月12日、私たち教職員の誰もが敬愛する長野雅文さんがこの世を去られ、天に召されました。60歳でした。

長野雅文さんは、昨年11月の外語祭の頃までは、元気なお姿をキャンパスでお見掛けしておりましたが、その後入院され、1月末ごろには病状が深刻になっているとの話を聴き、一か月も経たないうちに、逝去されました。あまりに早すぎるお別れでした。

長野さんは、1958年(昭和33年)5月10日生まれ。西南学院大学を卒業後、ダイエー勤務を経て、2003年5月に本学に着任され、入試広報室配属となりました。2007年7月には入試広報室長に就任、2010年からはキャリア支援課長の要職にありました。在職期間は16年となります。

長野さんが赴任されたのは、入学者の減少が始まった頃です。2007年には入学定員充足率が50%を割り込みました。まさに危機的な状況で、当時の学長、池田先生自らが学生募集と大学改革の先頭に立たれ、その学長を支えたのが長野さんでした。長野さんは、池田先生の「勇気」という言葉を全身で受け止め、粉骨砕身の働きぶりでした。その後、入学者も、幸い増加へと転じました。

在職期間の後半は、キャリア支援課長を務められました。当時はいかに学生の関心をキャリア支援に引き付けるかが課題でした。長野さんは、就活ストリートや朝活などの新機軸を打ち出し、また学生の一人ひとりに寄り添い、丁寧なカウンセリングを実践されたのでした。そのような愛情あふれる長野さんを慕って、キャリア支援室を訪れる卒業生も多いと聞いております。

長野さん、本当に長い間お世話になりました。これまで、私たち一人一人を、また長崎外大を支えてくださり、ありがとうございます。これからは天国で心ゆくまでお酒を飲み、張り裂けんばかりの大きな声でカラオケを歌い続けてください。そして、時々私たちの長崎外大のことも思い出して、その行く末を見守っててください。

追悼の辞 ^{もりわけ ひろし} 法人事務局付課長 森脇 浩

長野さんから初めて背中が痛いと聞いたのは確か今から4年前の平成27年頃ではなかったでしょうか。その時はまさかこんなことになるとは夢にも思いませんでした。

その後も痛みに堪えながらキャリア支援課長として一生懸命学生の面倒を見ておられました。そんな姿を見かねて休養するように言ってみました。その都度、あの笑顔で「森脇さん、ありがとう、でも大丈夫ですよ。また、今度飲みに行きましょう」と返され、「森脇さんこそ無理しないで下さいよ」と反対に注意される始末でした。

昨年末、入院治療に入る最後の出勤日には「絶対に帰ってきます」と私の手を握って約束されましたが、治療も及ばず平成31年2月12日に満60歳で逝去されました。

長野さんとの出会いは、平成15年5月、彼が入試広報課に配属された時でした。当時は大学開学3年目でまだ大学の認知度も低く、高校訪問に行っても短大の方が知られているような頃でした。そんな中、長野さんが前職での経験を活かした説明資料を作られたことを鮮明に記憶しています。その後、平成22年4月からはキャリア支援課に異動されましたが、「朝活(あさかつ)」を実施する等様々な支援を行なわれました。

思い起こすと他にも様々な思い出がよみがえってきますが、それも全て懐かしい思い出になってしまいました。現実にはあり得ないことですが、気持ちのどこかに大学に来ればあの笑顔にまた会えるような気がしてなりません。

キャリア支援課の仕事为天職と考え、学生第一がモットーだった長野さん。

通夜や告別式に在校生や卒業生、同じ時期に入試広報に携わっていた他学の職員からも弔電や弔問があったことを誰よりも喜んだのは長野さん自身ではなかったでしょうか。長野さんにとって、これこそ大学で働いたことに対する最高の贈り物ではなかったでしょうか。

今頃は天国で長い間我慢していたお酒を飲んでカラオケを歌っていることでしょうか。

長野さんこれまでありがとうございます。お疲れさま。

謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

● 同窓会だより ●

関東地区新支部長推挙について

この度、関東地区支部長を長らく務めて下さいました平木輝生様が、ご病気の為、長期入院を余儀なくされまして、ご子息の晃治様から退任届が4月3日付で出されました。

症状は重く、通常の生活が困難と判断致しまして、これを受け同窓会では、4月20日に開催されました関東地区支部役員会議を視野に入れ、正副会長会議を開催し、検討しました結果、平成31年4月25日付で退任を承認いたしました。

同時に支部長の選任も行い、以前から平木様からも聞いておりました加藤敏夫様をお願いしましたがご多忙により固辞され続けました。もはや無理かと諦めていました処、遠くに光明を見いだしましたので支部長に推挙させて頂きました。

どうか会員の皆様、加藤敏夫新支部長へご協力の程、宜しくお願い申し上げます。(同窓会会長 岩田耕作)

関東地区新支部長就任あいさつ

この度、平成31年4月3日付にて関東地区支部長 平木輝生様のご子息・晃治様から健康上の理由により『退任願』がだされておりましたので、同年4月25日付で長崎外国語大学同窓会本部の正副会長会議が開かれ審議・承認されました。

これにより後任に私、加藤敏夫(短1部一4回生 1955年卒)が務めさせて頂くことになりました。

はなはだ微力でございますが、就任しました上は、役員一同団結致しまして母校の更なるご発展の為に最善の努力を尽くす所存でございます。

会員の皆様方には、今後とも一層のご指導ご支援を賜ります様お願い申し上げます。(関東地区支部長 加藤敏夫)

2019年第5回関東支部同窓会のご案内

10月19日(土)、東京スカイツリーを眺めながらイタリアンで開催します!

※2019年第5回関東支部同窓会は次の日程で開催します。皆様のご参加をこころからお待ちいたしております。

1. 日 時： 2019年10月19日(土) 12時～14時
2. 会 場： ラ・ラナリータ (イタリアン) 墨田区吾妻橋1-23-1アサヒグループ本社ビル22F
☎050-5232-6403 (銀座線、浅草駅徒歩5分)
3. 昼食費： 4,000円 4. 年会費： 2,000円 (関東支部以外の方は不要です。)
5. 締切日： 2019年10月5日(土)迄
 - ハガキによる受付： 〒272-0034 千葉県市川市市川1-23-9 (株)アービックHD会長室内
関東地区支部同窓会支部長 加藤敏夫 宛
 - メールによる受付： email : ka.na.gaigodousokai@gmail.com
6. お願い： 支部長からご住所確認のお葉書をお送りしましたが、
移転等で届いていない会員様は支部長宛てご連絡ください。

● 保護者会だより ●

本学学生が第39回長崎県中国語コンクールで最優秀賞を獲得しました

2019年2月17日(日)に長崎県日中親善協議会の主催による第39回長崎県中国語コンクールが長崎歴史文化博物館ホールで開催されました。本学からは「上級の部」に国際コミュニケーション学科中国語専修一年生の山下竜司君が出演し、最優秀賞を獲得しました。

山下竜司君は諫早商業高校二年生だった二年前には同コンクールの「初級(学生)の部」で最優秀賞を獲得しており、今回で二部門制覇したことになります。

当該コンクールは、1979(昭和54)年の長崎～上海間定期航空路開設を記念した「長崎県中国語弁論大会」から始まり、1980(昭和55)年から毎年開催されている。当日は、多くの観客の声援を受け、初級の部(課題文朗読)に15名、上級の部(中国語によるスピーチ)に6名、計21名が出演し、それぞれに表現力豊かなスピーチを行い、日頃の学習の成果を競い合った。

また、今回の受賞を受け、2019年5月7日(火)に本学にて、吉野保護者会会長より山下竜司君へ保護者会会長特別奨励賞の贈呈が行われました。吉野会長より今後一層精進し社会に出た後も活躍を期待する旨の激励の言葉が贈られました。

(文責：長崎外国語大学保護者会理事会)



学校法人 長崎学院 2018 (平成30) 年度決算報告

学校法人長崎学院は「長崎外大ビジョン21」に沿って財務基盤の確立および財務体質の強化に努めています。大学の収入の源泉は「学生生徒等納付金収入」「補助金収入」「事業収入」「寄付金収入」「その他」の4つに大別されますが、その内でも「学生生徒等納付金収入」は2018年度の事業活動収入の64.4%を占めています。

本年度の一次次入学生数（5月1日付）は189名となり（入学定員170名、入学定員充足率111.2%）、これにより総在籍者数（5月1日付）は766名となりました（収容定員740名、前年同時期比21名増、収容定員充足率103.5%）。この結果、学生生徒納付金収入は前年度比で4,247万円の大幅な増収（前年度比+5.2%）となりました。

補助金収入については本年度も「私立大学等改革総合支援事業」、「私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金」に採択されましたが、その他補助事業の終了や制度変更等により、本年度は8,161万円の大幅な減収（前年度比▲26.3%）となりました。

付随事業収入は収入の大半を占めるアンペロス国際寮の入寮者数が前年度比104.7%と増加した結果、1億9,042万円と前年度比659万円の増収（前年度比+3.8%）となりました。

寄付金収入は全年度に引き続き、「教育環境の整備に関わる寄付事業」および「新長崎学研究に関わる寄付事業」の二つの寄付事業を実施しましたが、寄付金受領額は前年度比113万円の減収（前年度比▲13.3%）となりました。

なお、支出については、学生数増加に対応した教育研究活動の水準維持や奨学金や修繕費等の支出増加により教育研究経費が増加しましたが、予算管理を徹底しコスト削減に努めた結果、管理経費は前年度比101万円減少（前年度比▲0.4%）しました。

上記の結果、2018(平成30)年度決算では基本金組入前当年度収支差額が1億4,443万円となり、前年度比847万円増（前年度比+6.2%）となりました。また、翌年度繰越支払資金は2億9,727万円（前年度比452万円増）となり、前受金収入2億7,669万円を2,058万円上回る結果となりました。

資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

〔収入の部〕				〔支出の部〕			
(単位:円)				(単位:円)			
科目	平成30年度予算	平成30年度決算	差異	科目	平成30年度予算	平成30年度決算	差異
学生生徒等納付金収入	856,036,000	855,867,850	168,150	人件費支出	577,213,000	559,378,742	17,834,258
手数料収入	7,595,000	8,821,896	▲1,226,896	教育研究経費支出	290,909,000	287,129,799	3,779,201
寄付金収入	5,530,000	7,363,000	▲1,833,000	管理経費支出	175,571,000	183,950,400	▲8,379,400
補助金収入	241,414,000	228,125,328	13,288,672	借入金等利息支出	38,332,000	31,518,350	6,813,650
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	211,934,000	514,370,540	▲302,436,540
付随事業・収益事業収入	195,164,000	199,357,589	▲4,193,589	施設関係支出	16,091,000	8,521,351	7,569,649
受取利息・配当金収入	27,000	43,274	▲16,274	設備関係支出	24,721,000	25,079,053	▲358,053
雑収入	8,566,000	21,369,171	▲12,803,171	資産運用支出	0	40,000,000	▲40,000,000
借入金等収入	0	300,000,000	▲300,000,000	その他の支出	36,407,000	38,867,584	▲2,460,584
前受金収入	281,639,000	276,687,744	4,951,256	[予備費]	10,000,000	—	10,000,000
その他の収入	42,346,000	43,521,924	▲1,175,924	資金支出調整勘定	▲26,167,000	▲43,043,993	16,876,993
資金収入調整勘定	▲290,259,000	▲290,869,196	610,196	翌年度繰越支払資金	285,796,763	297,266,517	▲11,469,754
前年度繰越支払資金	292,749,763	292,749,763	0	支出の部合計	1,640,807,763	1,943,038,343	▲302,230,580
収入の部合計	1,640,807,763	1,943,038,343	▲302,230,580				

活動区分資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)				(注記)				
				活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。				
				(単位:円)				
項目	収入	支出	差引	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支	
教育活動による資金収支	1,311,646,355	1,030,322,735	281,323,620	276,687,744	276,687,744	—	—	
				42,345,704	25,586,704	16,759,000	—	
				▲18,846,823	▲18,846,823	—	—	
				▲272,022,373	▲272,022,373	—	—	
				28,164,252	11,405,252	16,759,000	—	
				32,062,604	26,385,887	5,676,717	—	
				6,804,980	6,804,980	—	—	
				▲5,132,775	▲5,059,728	—	▲73,047	
				▲37,911,218	▲29,653,579	▲8,257,639	—	
				▲4,176,409	▲1,522,440	▲2,580,922	▲73,047	
				32,340,661	12,927,692	19,339,922	73,047	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	289,061,830							
その他の活動による資金収支	301,406,973	586,025,096	△284,618,123					
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	4,516,754							
前年度繰越支払資金		292,749,763						
翌年度繰越支払資金		297,266,517						

事業活動収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目		平成30年度予算	平成30年度決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入	学生生徒等納付金	856,036,000	855,867,850	168,150
		手数料	7,595,000	8,821,896	▲1,226,896
		寄付金	530,000	2,579,180	▲2,049,180
		経常費等補助金	236,414,000	225,197,328	11,216,672
		付随事業収入	195,164,000	199,357,589	▲4,193,589
	雑収入	10,564,000	21,181,692	▲10,617,692	
	① 教育活動収入計	1,306,303,000	1,313,005,535	▲6,702,535	
	事業活動支出	人件費	572,820,000	555,398,402	17,421,598
		教育研究経費	366,617,000	364,659,140	1,957,860
		管理経費	222,604,000	230,601,623	▲7,997,623
徴収不能額等		0	301,615	▲301,615	
② 教育活動支出計	1,162,041,000	1,150,960,780	11,080,220		
③ 教育活動収支差額	144,262,000	162,044,755	▲17,782,755		

科目		平成30年度予算	平成30年度決算	差異	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	27,000	43,274	▲16,274
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	④ 教育活動外収入計	27,000	43,274	▲16,274	
	支出	借入金等利息	38,332,000	31,518,350	6,813,650
		その他の教育活動外支出	0	0	0
	⑤ 教育活動外支出計	38,332,000	31,518,350	6,813,650	
	⑥ 教育活動外収支差額	▲38,305,000	▲31,475,076	▲6,829,924	
⑦ 経常収支差額	105,957,000	130,569,679	▲24,612,679		

科目		平成30年度予算	平成30年度決算	差異	
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	11,000,000	15,828,509	▲4,828,509
	⑧ 特別収入計	11,000,000	15,828,509	▲4,828,509	
	支出	資産処分差額	0	1,828,118	▲1,828,118
		その他の特別支出	0	136,206	▲136,206
	⑨ 特別支出計	0	1,964,324	▲1,964,324	
	⑩ 特別収支差額	11,000,000	13,864,185	▲2,864,185	
	⑪ 予備費	10,000,000	—	10,000,000	
	⑫ 基本金組入前当年度収支差額	106,957,000	144,433,864	▲37,476,864	
	⑬ 基本金組入額合計	▲77,628,490	▲171,538,057	93,909,567	
	⑭ 当年度収支差額	29,328,510	▲27,104,193	56,432,703	
	⑮ 前年度繰越収支差額	▲2,921,511,020	▲2,921,551,020	40,000	
	⑯ 基本金取崩額	0	0	0	
	⑰ 翌年度繰越収支差額	▲2,892,182,510	▲2,948,655,213	56,472,703	

(参考)

⑱ 事業活動収入計	1,317,330,000	1,328,877,318	▲11,547,318
⑲ 事業活動支出計	1,210,373,000	1,184,443,454	25,929,546

貸借対照表

平成31年3月31日

(単位：円)

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	5,585,781,271	5,631,334,015	▲45,552,744
有形固定資産	5,517,356,820	5,613,846,526	▲96,489,706
特定資産	50,000,000	10,000,000	40,000,000
その他の固定資産	18,424,451	7,487,489	10,936,962
流動資産	322,902,175	340,574,796	▲17,672,621
資産の部合計	5,908,683,446	5,971,908,811	▲63,225,365
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,391,676,369	1,551,430,374	▲159,754,005
流動負債	522,667,197	570,572,421	▲47,905,224
負債の部合計	1,914,343,566	2,122,002,795	▲207,659,229

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	6,942,995,093	6,771,457,036	171,538,057
第1号基本金	6,863,995,093	6,692,457,036	171,538,057
第4号基本金	79,000,000	79,000,000	0
繰越収支差額	▲2,948,655,213	▲2,921,551,020	▲27,104,193
翌年度繰越収支差額	▲2,948,655,213	▲2,921,551,020	▲27,104,193
純資産の部合計	3,994,339,880	3,849,906,016	144,433,864
負債及び純資産の部合計	5,908,683,446	5,971,908,811	▲63,225,365



写真：シーボルト「日本語要略」中表紙

長崎滞在中のシーボルトが1824年11月、『バタヴィア学芸協会紀要』に投稿したラテン語による日本語に関する稀少な論文。ツンベルグの日本語のフランス語ローマ字表記を参照しながら、ケンベルのドイツ語によるローマ字転写法を踏襲し、長崎の蘭通詞から得た音の種類と発音により誤りが正され、言語学的に整理されている。

長崎外大 2019年度 年間スケジュール

今年も本学では以下のイベントを予定しています。

春	4月2日	2019年度春季入学式
	4月5～6日	新入生島原一泊研修
	5月19日	長崎外国語大学保護者会 定期総会
	5月23日	スポーツ大会
夏	7月10日	留学許可書授与式
	7月20日	オープンキャンパス
	8月4日	オープンキャンパス
	8月9日～9月26日	夏季休暇(夏休み)
秋	8月24日	オープンキャンパス
	9月20日	2019年度秋季 入学式
	9月25日	就活キックオフ集会
	9月26日	2019年度秋季 卒業式
	10月3日	インターナショナル・デイ(長崎くんち体験)
	10月6日・13日	長崎外国語大学 地区別保護者懇談会(福岡・長崎)
	11月2日・3日	第69回外語祭
冬	11月27日	創立74周年記念式典・記念礼拝
	12月18日	全学クリスマス礼拝
	12月19日	長崎外大スピーチ大会
	2月8日～3月31日	春季休暇(春休み)
	3月7日	保護者対象 留学事前説明会
	3月19日	2019年度春季 卒業式

※既に実施済のものを含みます。予定は諸事情により変更されることがあります。